

授業科目名	女性のフィジカルアセスメント <i>Physical Assessment Skills in Midwifery</i>				担当教員	永松 美雪					
開講年次	1年前期	セメスター	1			時間数(単位数)	15(1)				
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義			使用教室					
授業の目的	女性の形態と機能、生殖器の発生から内分泌機能の成熟、さらにライフサイクルにおける女性の身体変化などを基礎として、女性の健康アセスメントに必要な問診の視点を理解するとともに、助産診断・介入に必要なフィジカルアセスメントの手法を習得する。										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師が行うフィジカルアセスメントについて説明できる 2. 女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察技法が説明できる 3. 乳房のアセスメントについて説明できる 4. 妊婦のフィジカルアセスメントについて説明できる 5. 産婦のフィジカルアセスメントについて説明できる 6. 褥婦のフィジカルアセスメントについて説明できる 										
DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 フィジカル・イグザミネーションとフィジカルアセスメント 助産師が行うフィジカルアセスメント 2回 女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法(1) 診察における基本姿勢および面接(問診)技法 3回 女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法(2) 乳房を含む全身の診察に必要な技法(視診、触診、計測診) 4回 女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法(3) 内診、直腸診、膣鏡診、細胞診、性感染症検査法 5回 妊婦のフィジカルアセスメント レオポルド胎児触診法、腹囲・子宮底測定法、胎児心音聴取法・胎児モニタリング 6回 産婦のフィジカルアセスメント(1) ザイツ法、内診、破水の診断、胎児位置・回旋の診断方法 7回 産婦のフィジカルアセスメント(2) 分娩後2時間までに必要なアセスメントと技法 8回 褥婦のフィジカルアセスメント 										
学習方法	女性生殖器の解剖・生理、妊娠、分娩、産褥の経過については母性看護学で学んだ知識・技術を踏まえ、講義を進めます。既習項目の復習をして臨むこと。内診はシュミレーションモデルを使い、内診所見の口頭試問を行います。胎児モニタリング所見の課題を出します。正常からの逸脱の判断ができるようになってください。										
オフィスアワー	金曜日の昼休み、もしくは事前にメール(永松:m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp)にてアポイントを取って下さい。										
テキスト	我部山キヨ子:助産師のためのフィジカルイグザミネーション,東京,医学書院,2018. 我部山キヨ子他:助産学講座6助産診断・技術学II妊娠期,東京,医学書院,2013. 我部山キヨ子他:助産学講座7助産診断・技術学II分娩期・産褥期,東京,医学書院,2013.										

参考文献	<p>井上真智子 編：もう困らない！プライマリ・ケアでの女性の診かた：女性診療に携わるすべての人に役立つ問診・診察・検査のノウハウ。東京，羊土社，2015。</p> <p>鈴木俊治、舛森とも子：超早わかり助産ケア技術：決定版！。大阪，メディカ出版，2015。</p> <p>平澤美恵子，村上睦子監修：写真でわかる助産技術アドバンス：妊産婦の主体性を大切にしたケア，安全で母子に優しい助産のわざ。東京，インターメディカ，2016。</p> <p>進純郎他：助産外来の健診技術。東京，医学書院，2010。</p> <p>荒木勤：最新産科学 正常編 第22版。東京，文光堂，2008。</p> <p>荒木勤：最新産科学 異常編 第22版。東京，文光堂，2012。</p> <p>日本ラクテーション・コンサルタント協会：母乳育児支援スタンダード。東京，医学書院，2015。</p> <p>BFHI2009 翻訳編集委員会訳：UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい 母乳育児支援ガイド「母乳育児成功のための10カ条」の実践ベーシック・コース。東京，医学書院，2011。</p> <p>増崎英明：動画で学べる産科超音波。大阪，メディカ出版，2014。</p>
評価方法	授業への参加度（10%）、レポート（20%）、筆記試験（70%）